



## 黄・白・赤の公団カラーが サーキットで輝く

会社員として働きながら SAKAE MOTOR SPORTS のドライバーとしてスーパー耐久シリーズに出場している大島良平さんにお話を伺いました。

### レースとの出会い、初勝利への道

転勤族の家庭で育ち、各地を転々とした後、長い間札幌市で過ごし、30歳で当別町へ引っ越してきました。子どもの頃は、スキーに夢中で、大学生まで続けていましたが、自分の車を手に入れたことをきっかけに、スキーよりも車への情熱が勝り、どんどんその魅力にのめり込んでいきました。

元々は車好きとして年に1・2回サーキットを走る程度で、レースとは全く無関係。そんな中、33歳のときに、十勝のサーキットで知り合った方に声をかけられたことがきっかけで、レースに出場することになりました。初めて出場したのは、「VITA」という車のみで行われるワンメイクのレースで、車の性能差がほとんどないため、ドライバーの腕だけが勝負を決めるレースでした。実力がはっきりと評価されることや速い選手との差を分析し勝利に向けて努力することが楽しく、次第にレースに本

# SAKAE MOTOR SPORTS 大島 良平 さん



ここに書ききれないエピソードや写真は  
当別町ホームページ「現代を生きる<sup>プラス</sup>」  
でご覧ください。



気で取り組むようになりました。参戦5年目に初勝利を挙げることができたときはとても嬉しかったです。その後、2022年に岩見沢市の建設会社が立ち上げるレーシングチーム「D.R.C EZO（現・SAKAE MOTOR SPORTS）」から誘われ、新しい車を手にし、その年には北海道チャンピオンとなり、それまでの苦労がついに実を結びました。その頃の走りの経験は今も役立っています。

### S耐で「公団ちゃん」誕生

そして翌年、スーパー耐久（S耐）シリーズのST-5クラスに参戦することになりました。道路パトロールカーでお馴染みの黄・白・赤の公団カラーを施したフィットで出走していますが、富士スピードウェイで行われた24時間耐久レースで「公団ちゃん」として話題となり、サーキットやSNSでたくさんの方々に応援いただけるようになりました。この公団カラーには、「建設業を盛り上げたい」という想いが込められています。会社に応援のメッセージが寄せられたり、関係のない道路パトロールカーの方が「公団ちゃん頑張れ」と小さい子から声をかけられたりと、業界

への関心の広がりを感じています。今後も建設業界の広報としても力を尽くしたいです。

### さらなる挑戦へ！

「公団ちゃん」として人気が高まり、結果に関係なく応援しているだけいますが、競技者としては、やはり勝つ喜びを追い求めたいと思っています。今季のS耐ではクラス4位という成績でしたが、来季はチャンピオンを目指し、メーカーのワークスマニフェストとも争える実力をつけていきたいです。

また、以前は江別のレースシミュレーターの店で先生をしていたことがありました。レーサーに憧れている人を含め、さまざまな人と出会うことができ、とても楽しい経験でした。いつか当別でも同様の活動をしたいと考えています。

車好きの方々はぜひ、私のXとインスタグラムをフォローしてください。一緒に車について語り合いましょう！



X  
@BrunaRacing



Instagram  
@Bruna\_Racing